

令和6年度 大町西小学校 学校評価 自己評価（総合評価）

本年度も、大町西小学校では全職員一丸となって、「一人ひとりの輝きを認め合う」学校づくりと、「協働の学び」の授業づくりによる「よりよく生きるために学び続ける子どもの育成」を進めてきました。学校評価アンケートの結果を中心に、本年度の成果と課題を次年度に繋げていきたいと思っています。

（１）重点１ 学びづくり（主体的で対話的で深い学びを）に関わって

・保護者アンケートより ③あまりそう思わない ④そう思わない

（２）お子さんは、対話をして考えながら授業に取り組んでいる。

③+④ 24.5%

（４）お子さんは自分の考えや分かったことを書いたり学習をふり返ったりしている。

③+④ 47.7%

（５）お子さんは、家庭学習（宿題）を毎日、自分から取り組んでいる。

③+④ 21.7%

（２）（４）・・・子どもたちの日常の学びや育ちの姿を、おたよりや懇談会等で発信していきたいと考えます。また、テストだけでなく、子どもたちが書いたマインドマップやノート・学習プリントなども懇談時等にご家族の皆様に見ていただきながら、子どもたちの学びの深まりを共有していきます。

（５）・・・まずは、家庭にも協力を求め、家庭学習の習慣づけを行います。さらに、具体的な方法を示したり、自ら学び力を伸ばしていくことの良さを体感させたりして、自己学習調整力を高めていきたいと考えます。

・児童アンケートより ③あまりそう思わない ④そう思わない

（４）自分の思考の流れをふり返り、自分の言葉であらわしている。

③+④ 19.6%

（５）家庭学習を、毎日めあてをもって自分からやっている。

③+④ 19.6%

（６）自分から問題を発見し、いろいろな教科の内容を生かして解決しようとしている。

③+④ 24.0%

（４）・・・マインドマップ等による自身の思考の流れをふり返る場の設定を大切にすると同時に、友人の考えの変容などを聴きあう場も採り入れ、個々の学びを深めていきます。

（６）・・・授業における「問い」の質を高めたり、総合的な学習の時間の中に探究の学びの時間を位置付けたりしていきます。また、今までの学びを生かして解決しようとしている姿を共有しあう場も大切にしていきます。

・協働の学びをさらに推進します。小中連携により9年間の見通しをもち、児童の発達段階に応じた協働の学びの充実をめざします。教師のニーズに沿った研修を進めるとともに、「学びの集会」などを通し、児童へも学び方の理解を図り、めざす学びの姿を共有しながら進めていきます。

- ・近年、教科担任制を試行的に進めてきました。生徒指導面、教科の充実面、業務改善面等で多くのメリットがありましたので、来年度も実施していきたいと考えています。また、単級となる学年については、連学年での実施を検討します。
- ・総合的な学習の時間の中に、探究の学びの時間を位置づけます。そのために、自ら課題を見つけ、協働の学びによって課題を解決する過程を個々に体験するカリキュラムを検討します。

(2) 重点2 なかまづくり（一人ひとりが主役となる学びの場を）に関わって

- ・保護者アンケートより ③あまりそう思わない ④そう思わない
(7) お子さんは、自他のよさに気づき、自信をもって生活できている。
③+④ 24.5%
- ・児童アンケートより ③あまりそう思わない ④そう思わない
(7) 学校生活で、自分には良い所や得意なことがあると感じている。
③+④ 11.9%

(7)・・・引き続き、対話を基盤とした協働の学びを意識し、授業の中でそれぞれの輝きを認め合う場面設定を大切にし、具体的な姿を認めていきます。また、友と互恵的な関係を築くことが難しい状況にある場合は、「自己紹介すごろく」や「無人島に持っていくとしたら」などのワークショップからスタートし、それぞれの違いの良さや楽しさを味わう体験を重ねていきたいと考えます。

(10) 学校で分からないことや困ったことがあると友だちや先生に聞いたり相談したりすることができている。 ③+④ 14.7%

(10)・・・「声がけ＝肥えがけ」をキーワードに、私たちからの語りかけや、「わからない」ということや友だちの声に耳を傾けたりすることを全教育活動で大切に考えて取り組んでいきます。

- ・「子ども一人ひとりの人権や輝きを大切にする」という意識をもって子どもと関わる私たちの姿勢や、地域やボランティアの皆様など多様な人々と関わったり学び合ったりする活動を通して、子どもたちの自己有用感をいっそう高めていきたいと思います。
- ・「困ったことを友だちや先生に相談できる」児童の割合が昨年度末に比べて向上しています。「一人ひとりの輝きを認めあう」理念の下、聴く姿勢を大切にした支援と、対話のできる学級づくりを進めてきた成果とも考えられます。さらに子どもたちにとって安心して聴いたり自分を表現したりすることのできる環境づくりに力を注いでいきたいと考えています。

学校再編まで、いよいよ残り1年となりました。市内4小学校ならびに大町中学校との連携を密にしながら、令和8年度に良いスタートを切ることができるように、子どもの可能性を信じ、寄り添い、保護者や地域の学習支援ボランティアの皆様と共に子どもたちを支えていきたいと思います。